



News Release

2021年3月25日

NITE（ナイト）

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北海道支所

3年連続、年100件以上発生 ～点検と情報確認で自転車の製品事故を防ぎましょう～

1. 事故の発生状況

2015年から2020年^{※1}の6年間にNITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{※2}のうち、自転車の製品事故は、北海道で合計11件ありました。自転車の事故は重傷に至る場合が多く、11件中8件（72%）を占めています。

(1) 年別事故発生件数

年別事故発生件数を表1に示します。

表1 年別事故発生件数（2015～2020年）

発生年度	合計
2015年	4
2016年	1
2017年	2
2018年	2
2019年	2
2020年	0
合計	11

(2) 被害状況別事故発生件数

被害状況別事故発生件数を表2に示します。

表2 被害状況別事故発生件数（2015～2020年）^{※3}

被害状況		合計
人的被害	死亡	0
	重傷	8
	軽傷	3
物的被害	拡大被害	0
	製品破損	0
被害なし・不明		0
合計		11

- (※1) 2020年の数値は、詳細を確認中のため参考値とする。
- (※2) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含める。
- (※3) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 主な事故事例

- (1) 2017年10月（北海道、年齢不明・女性、使用期間約3年4か月、軽傷）
事故内容：自転車で走行中、前輪がロックして転倒し、負傷した。
事故原因：当該製品の前輪右ブレーキアームが破断し、前輪スポークに引っ掛かって前輪がロックし、転倒したものと考えられる。
- (2) 2019年5月（北海道、10歳代・男性、使用期間約1か月、重傷）
事故内容：自転車で走行中、前輪がロックして転倒し、頭部を負傷した。
事故原因：走行中、何らかの衝撃を受けたことで、前ホークが変形、前輪がロックし、事故に至ったものと考えられる。

3. 自転車の事故を防ぐポイント

- ①ハンドルにものをぶら下げない。
- ②乗車前に車輪やハンドル、ペダルの緩みやがたつきを確認する。
- ③ブレーキの利きは必ず確認する。
- ④走行時の前方確認を怠らない。

4. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。
なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITEのロゴ」としてください。

（本件に関する問い合わせ先）

〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西2丁目

札幌第1合同庁舎 4階

独立行政法人製品評価技術基盤機構 北海道支所

担当者: 鈴木、下川

電話: 011-709-2324